

情勢報告

環境制御技術の更なる普及推進に向けて ～安芸地区環境制御技術普及推進会議～



活発な意見交換ができました

7月25日、農業改良普及課は安芸地区環境制御技術普及推進会議をJA土佐あき本所で開催し、生産者代表や関係機関等の計39人が参加しました。

農業改良普及課から、今年度の普及指導計画、環境制御技術の導入状況、ナスなどの実証ほの成果について説明し、県関係機関からは前年度の実績と今年度の計画等について報告しました。

安芸地区は県内で環境制御技術が最も普及していますが、生産者からは、さらなる普及に向けて増収事例の紹介や農家同士の教えあう場の設定、初心者向けの勉強会の開催などの要望がありました。

農業改良普及課は、会議で出された意見を今後の普及活動に反映し、環境制御技術のより一層の普及推進に努めます。

嶺北地域を視察してきました ～安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会～



嶺北地区と安芸・室戸地区の農村女性リーダーと情報交換

7月25日、農業改良普及課が研修内容を企画調整し、安芸・室戸地区農村女性リーダー協議会の5人が嶺北地域へ視察研修しました。

嶺北地区農村女性リーダーの「三色ピーマン」や「花き」及び(株)れいほく未来の「米ナス」の施設栽培について現地研修した後、嶺北農業改良普及所の会議室で嶺北地区と安芸・芸西地区の農村女性リーダーが情報交換しました。

情報交換会では、地域の状況はそれぞれに違うが「自分たちが地域の中でできることをみんなで集まって考えていくことが必要」、「地域の中で農業をどう産業として残していくか、女性も地域の担い手として考えていきたい」等、前向きな意見が出されました。

農業改良普及課は、今後も農村女性リーダーの自主的活動を支援していきます。

炭酸ガスでさらなる増収を！ ～安芸集出荷場研究会青年部会勉強会～



炭酸ガス施用の増収効果に興味を示す青年部員

7月27日、JA土佐あき安芸集出荷場研究会青年部会の勉強会が安芸集出荷場会議室で開催され、生産者12人が出席しました。

農業改良普及課は、管内の環境制御機器・装置の導入状況と導入農家の成果について情報提供しました。

増収した農家から「収穫の極端な山谷がなくなった」という声もあり、出席者の炭酸ガス発生機導入への関心を高めることができました。

農業改良普及課は、環境制御機器・装置のうち、特に炭酸ガス発生機の管内導入面積の拡大に向けて、今後も関係機関と連携して部会や勉強会などで情報提供を継続します。

若手生産者の活躍に期待！～平成29年度高知県青年農業士認定証授与式・意見交換会～



知事と対話できる貴重な機会

7月31日、高知城ホールで平成29年度青年農業士認定証授与式が開催され、安芸ブロックからは新たに5人が青年農業士として認定されました。

農業改良普及課は、地域の青年農業士から推薦を受けた候補者の選定や申請書の作成を補助しました。申請書の作成は自身の農業に関する経歴や取り組みを振り返る機会にもなり、認定に向けて気を引き締める候補者の姿が見られました。

農業改良普及課は、管内の青年農業士42人のニーズに応じて勉強会の開催などを支援し、担い手の育成を推進します。

今年のユズの調子はどうだろう ～露地ユズの果実肥大調査を開始～



ユズの肥大状況を調査する普及指導員

8月1～2日、農業改良普及課は今作のユズの生育状況を把握して栽培指導に活用することを目的に、安芸市、安田町、北川村のユズ園地12か所で果実肥大調査を行いました。

今年のユズは平年よりも開花期が遅かったことから、果実肥大の遅れが懸念されていましたが、調査の結果、平年並の大きさであることが分かりました。また、着果数は概ね平年並ですが、園地や樹ごとにバラつきが大きいことが分かりました。

農業改良普及課は、今後も果実肥大調査を収穫期まで月2回、JAと協力して管内のユズの生育状況を把握するとともに、調査結果を踏まえて勉強会等で生産者に肥培管理等の指導を行います。

新商品できました！！ ～6次産業化支援チーム会（東風グループ）～



甘酢の新商品お試しあれ！！

8月2日、安芸市東川公民館で6次産業化支援チーム会を開催し、グループ員5人が参加しました。

東風グループでは一昨年から甘酢の新商品開発に向けて取り組んでいましたが、今年3月末に原料製造業者の廃業等があり、改めて原料の選定や配合割合の見直しが必要になりました。

農業改良普及課は、グループ員とともに県内業者の醸造酢と塩を選定し、試作・検討を重ねて、7月中旬に納得の味が完成しました。今回のチーム会では新商品の完成確認と今後の販売方法を検討するため、試食会をしました。

参加者からは「そうめんや唐揚げに合うね」との意見があり、甘酢の新たな使い方を研究することになりました。

農業改良普及課は、引き続き東風グループが販路拡大やレシピ作成等に積極的に取り組み、6次産業化が進むように支援します。

ナスの病害を知ろう ～赤野ナス集出荷場女性部～



熱心に説明を聴く女性部員

8月4日、JA土佐あき赤野ナス集出荷場女性部勉強会が赤野集出荷場で開催され、女性生産者33人、関係機関2人の計35人が参加しました。

農業改良普及課は、ナスで問題となっているナスフザリウム立枯病、黒枯病、すすかび病の病徴とその対策について説明しました。また、環境制御機器の種類と特徴を説明し、赤野地区の炭酸ガス発生装置の導入割合や増収事例について情報提供しました。

生産者らは、時折うなずきながら熱心に説明を聴き、環境制御技術に関心を示していました。

農業改良普及課は、今後もJA等関係機関と連携し、女性部の活動を支援します。

みんなでGAPをしよう！ ～安芸集出荷場ピーマン部会～



GAPシートについて説明する
普及指導員（右）

8月7日、JA土佐あき安芸集出荷場でピーマン部会が開催され、生産者8人が参加しました。

農業改良普及課は、国のガイドラインに準拠した高知県版生産者用GAPシート【土佐あき・野菜版】（以下、GAPシート）について説明しました。

生産者からは「GAPシートの記入は月1回？」、「記入方法は？」などの質問がありました。質疑応答後には全員で作付前の点検をしました。また、今後は、毎月部会を開催し、GAPシートの点検をすることが決まりました。

農業改良普及課は、これからもGAPの取り組みを通して生産者の経営改善を支援します。

主要な病害虫についての知識を高めよう！ ～安芸集出荷場研究会女性部総会～



病害虫の知識を深めて
適正な防除を行いましょう

8月16日、JA土佐あき安芸集出荷場研究会女性部の総会が安芸集出荷場会議室で開催され、女性生産者50人が参加しました。

農業改良普及課は、ナス・ピーマンの主要病害虫の見方、平成30年度環境制御普及促進事業について情報提供しました。

会では、病徴や害虫の画像を交えて説明し、特に昨年被害の多かったミナミアオカメムシの発育ステージ別の画像を紹介した際には「これがカメムシの幼虫とは知らなかった」という声が聞かれ、病害虫防除の知識を向上できました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して女性生産者が理解しやすい病害虫対策や栽培管理について情報提供します。

稲 WCS 用でも手は抜かん！！ ～稲 WCS 検討会 in 東大野集落営農組織～



コメでもナスでもカメムシには参るの～

8月16日、東大野集落営農組織の生産者4人を対象に稲WCSについて検討会を開催しました。

農業改良普及課は、今年度の稲WCS対象ほ場の面積について報告し、刈取時期を検討しました。また、稲WCSは非食用米ということで害虫防除への意識が低い傾向にあることから、出穂以降の害虫防除の重要性について説明しました。

生産者からは、「周りの田んぼやハウスのナスに迷惑かけんように虫の防除せんといかんにゃ～」、「集落一斉で草刈りもするようにしようか」といった声が聞かれ、害虫防除に対する意識を向上できました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して現地巡回や現地検討会などを通じて稲WCSの安定生産に努め、耕畜連携を推進します。

ユリは葉っぱも商品やき！！ ～花き部安芸支部球根部会勉強会～



やっぱ、葉っぱも大事で！！

8月17日、JA土佐あき花き部安芸支部球根部会が勉強会を開催し、生産者4人が参加しました。

農業改良普及課は、生産者から要望のあったユリの葉色の黄化症状について説明しました。

生産者からは、「ユリでは収穫後の前処理は時間的に難しい」、「栽培中の管理で収穫後も葉が黄色くならんようにできんろうか」といった声が聞かれ、活発な意見交換ができ、次作の栽培への課題と対策を共有することができました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携して現地巡回や現地検討会などを通じてユリの品質向上を図り、花き産地の振興に取り組めます。

果樹の営農相談会を開催しました ～JA 土佐あき果樹部会～



生産者と質疑応答

8月17日、農業改良普及課室戸支所はJA土佐あきと合同でJA土佐あき果樹部会を対象に旧東洋集出荷場で営農相談会を開催しました。

相談に来られた3人の栽培管理等に関する疑問を聞いて回答し、疑問点を解決することができました。また、今年はポンカンに着果が少ないため摘果は必要ないという生産者には、来年のことも考えて摘果の重要性を資料で説明し、理解してもらうように努めました。

農業改良普及課室戸支所は、今後もJA等関係機関と連携し、果樹部の活動を支援します。